知床財団
SHIRETOKO NATURE FOUNDATION

知床世界自然遺産地域保全事業
（2017 年 4 月～6 月）

（1）多様性に富むしれとこの森を復元する事業

5 月中旬、ようやく知床でも雪解けを迎え、今年も本格的な森づくり作業を開始しました。毎年、春のこの時期は、苗畑での作業が中心となります。この春は、苗畑で育てた高さ 2～5 メートルほどの苗木約 50 本を 100 平方メートル運動地の各地に植え込みました。この作業には、ダイキン工業の皆さんのほか、たくさんのボランティアの方のお手伝いをいただき、気温が高くなりはじめる 6 月の前には予定通り苗木の移植を終えることができました。

その後は大きく冷え込む日もなく、また適度に雨も降ったことから、苗畑の苗木、そして自然木や草本も順調に生育を続けています。

風と雪で折れた防鹿柵の柱（4 月）

防鹿柵の補修作業（5 月）

4 月末の苗畑の様子（4 月）

苗木の掘り取り作業（5 月）

知床財団
SHIRETOKO NATURE FOUNDATION

苗木の植え付け作業（5 月）

この春芽吹いたシウリザクラの稚樹（6 月）

5 月 26 日（金）～29 日（月）の日程で、12 回目となるダイキン工業知床ボランティアを開催しました。11 名の参加者の皆さんには、前述の苗木の植え付けのほか、苗畑での除草や新しく造成する苗畑の整地など様々な森づくりのお手伝いをいただきました。

苗木植え付け用の支柱の運搬（5 月）

苗木の植え付け作業（5 月）

苗畑での除草作業（5 月）

宿舎での夕食づくり（5 月）

(2)世界遺産の価値を守り、伝える事業

1. 次世代へ知床の森をつなぐ活動への支援

地元斜里小学校 6 年生の 100 平方メートル運動体験学習の現地引率など、小学生から大学生までの若い各世代に向け知床の自然と運動を伝える取り組みを行いました。

この 9 月に予定している 100 平方メートル運動地の新しい公開コースの準備作業として、現地の確認やコース沿いの整備作業などを進めました。

斜里小学校 6 年生の運動地散策(6 月)

同 6 年生へのレクチャー(6 月)

運動地新規コースの現地確認(5 月)

コース周辺の整備作業(5 月)

知床で学び育つ子どもたちが野外環境学習の場で利用できる物品として、6 月にウェダー(胴付き長靴)を SS、S、M、L サイズそれぞれ 2 個ずつ購入しました。購入したウェダーは 6 月 25 日に「知床博物館キッズ」が標津町で実施した川の観察会で早速子どもたちに活用していただきました。知床博物館キッズは、斜里町教育委員会が主催者となり、町内の小学 3 年生から中学 3 年生までを対象として毎年定員 15 名を募集し、月 1 回程度知床の自然や郷土を学習するための活動をしている団体です。

新しいウェダーを使って川の観察活動を楽しんだ子どもたちや指導スタッフからは「今まで使っていたものよりも長くて胸まであって使いやすい」「小さいサイズのウェダーがそろっていなかったため、助かる」などの声をいただいています。今後も地域の子どもたちの活動に活用していただけるよう、貸出業務を実施していきます。

活動前に川の観察方法を学ぶ子どもたち

タモ網を使って川の生き物を探し出す

ウェダーがあれば濡れることを心配せず川での生き物観察に没頭することができる

採取した川の生き物をじっくりと観察する知床博物館キッズの子どもたち

2. ヒグマと人の共存を手助けする活動への支援

電気柵は昨年 12 月に通電を停止し、積雪による破損を防ぐためにラインを束ねて地面に下ろし、一部のポールを撤去していました。4 月 26 日から稼働させるための作業を行い、7 月 6 日に全ての電気柵を稼働させました。

電気柵を再稼働するための作業の様子

エリアごとの区間別電気柵の設置日

エリア	区間	設置日
北浜ー相泊	相泊	7/6
	三協	※
	相泊温泉	7/1
	セセキ温泉前	6/30
	セセキの滝	7/1
	セセキの滝南	6/17
	平藤番屋	6/17
	昆布浜北	6/28
	昆布浜南	6/8
	北浜	6/21
	ルサ	6/7
	ルサ南	5/10
	キキリベツ	5/7
市街地	羅中東側	5/31
	羅中西側	4/26
	羅臼市街地南	5/5

※工事中のため設置不可

平成 26 年度に羅臼市街地北側に設置した電気柵には積雪による破損が至る所で見られたため、5 月に大掛かりな補修作業を行いました。通電後は適宜見回りを行い、電圧低下が認められた場合には直ちに原因を特定して修繕し、電圧を回復させました。

積雪の重みで壊れてしまった市街地北側電気柵

羅臼町海岸町サシルイ川右岸で刈り払ったフキの群落（毎年ヒグマが出没する場所）

6 月下旬以降には、雑草が繁茂しラインに触れることによる漏電が複数個所で発生したため、全区間を対象として一斉に草刈りを実施しました。

ヒグマの出没が昨年度に多発した場所の民家付近を中心として、ヒグマが好まない環境作り（隠れ場所や餌場として利用させない）、あるいはヒグマ出没に伴う対策の際のスタッフの危険を回避するため（見通しを良くし、ヒグマの位置を確認しやすくする）、フキやイタドリの濃い藪を刈り取る作業を 7 月初旬に町内の 4 箇所（共栄町材木岩トンネル斜面、海岸町サシルイ川右岸、峭町モセカル地区の山側斜面および知円別地区）で行いました。

上記の場所以外についても、ヒグマの出没があり、フキやイタドリの籔が出没の要因となったと考えられた場合は同様に随時草刈りを行いました。

草刈りの主な対象地区

※画像および文章の無断転用はご遠慮ください。